

## 諫早労働基準監督署が食料品製造業を対象に労働災害防止対策会議を開催

平成23年5月19日、諫早労働基準監督署（署長 池田 康廣）は、管内の労働災害が増加傾向にある食料品製造業者（出席者 50 名）を対象に、労働災害の発生状況、災害事例検討会、リスクアセスメント研修会を実施しました。

会議では、冒頭、監督署長より管内における食料品製造業における労働災害が建設業よりも多いことから労働災害は他人事ではないことを理解し、リスクアセスメントを「転ばぬ先の杖」として有効に活用し、安全安心な職場実現を祈念しますとの挨拶がなされ、監督署担当官より災害発生の動向を説明、出席事業場より自社での災害事例の検討会を実施しました。

災害事例検討会では、数社より発生状況、原因、対策を発表、同種災害が発生した事業場からも再発防止対策を発表、検討し、法律上の留意事項を説明するなどして実施しました。

また、労働安全コンサルタント（清水 富夫 氏）より、安全診断の経験を生かした事例の紹介、安全配慮義務とリスクアセスメントの関係を織り交ぜながら、リスクアセスメントの必要性等について説明いただきました。

最後に、管内事業場におけるリスクアセスメント実施事例発表として、日本ハム（株）諫早プラント（安全担当 岡野係長）様より、リスクアセスメント実施上の留意点、メリット、そして今後の課題、決意を発表いただきました。



諫早労働基準監督署長



講師 労働安全コンサルタント（清水富夫様）



発表 日本ハム(株)諫早プラント(岡野係長様)



研修風景